

平成19年度千葉県環境計量協会新任者教育

(株)住化分析センター 千葉事業所

環境分析グループ 奥村貴史



新任者を対象にした教育とあって、基礎を中心とした内容であったため理解しやすく非常に有意義な講習であった。既に実務において関っている内容もあったが、その意味、理由を改めて理解することができた。

各講座はパワーポイントを主体に進められ、各講義の最後には講師の方々から新任者に対して今後期待することが盛り込まれていたこと(分析機器を操作することだけが仕事ではない)が、まさに今回の講座の目的であったと思われた。

特に、講義の多くの時間をサンプリングの重要性について割かれていた。昨今の環境分析業界は価格破壊が進み、コスト削減のため、サンプリング業務をサンプリング知識の少ない者に任せている傾向があると言われている。しかし、サンプリングは分析業務の始まりであり、間違った方法でサンプリングを行えば、その後どんなに精度の良い分析を行っても良い結果は得られないということを改めて認識させられたとともに、今後の業務に関しても、サンプリングの重要性についてサンプリングを実施する者に認識・教育していかなければならないと感じた。

また、今回の受講で、労働安全衛生についても詳しく説明がなされ、普段の業務にて安全関係の書類などを作成していくうえで、「なぜ、この欄にこの人の名前が必要なのか？」などの理由がよく理解できたことは非常に有意義であった。労働安全衛生については、各企業とも、なかなか今回のような講義内容までは教育が及ばないと思われるので、このような講義の機会を得ることが出来たことは大変有益であった。

今年から行われた親睦会も同業他社の方々と意見交換し、分析業界の流れを知りたい機会となった。